

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 177 (通算 481 回)

2010 年 11 月 22 日 (月)

大学と高・中との連携戦略——

学園総合力への教育・経営シナリオⅢ

～併設・付属・系列・連携校との教育接続の進化と実際～

- ※ 大学法人の併設・系列校の動向／高大連携の類型／法人合併・分離等／経営分析と財務確立
- ※ 付属校と大学の“不幸せな関係”／生徒・市場はどう評価しているか／付属・連携校の意義
- ※ 中・高校からみた接続・連携の明日を拓く／中高が担うべき学力／教育者の責務と至福
- ※ [関西大] 総合学園としてのビジョンと行動計画／新たなキャンパス創造／“考動人”育成

● 講師陣 ●

- 田辺 和秀 氏 / 日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 経営支援室室長
 安田 賢治 氏 / (株)大学通信 取締役・情報編集部部長
 小西 靖洋 氏 / (学) 関西大学 常務理事
 清水 哲雄 氏 / 東京私立中学校高等学校協会 東京私学教育研究所長
 鷗友学園女子中学高等学校 前校長

2010 年 11 月 22 日 (月) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時：2010 年 11 月 22 日 (月) 9:40～16:50
 会場：剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
 麹町口より徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 42,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 43,000 円 (送料、消費税込)
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が
 悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ
 FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名 (株)地域科学研究会
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。
 申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 HP: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 177 2010 年 月 日

学園総合力への教育・経営シナリオⅢ 当日参加 メディア参加
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ 連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類 (□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 〃 11:10	<p>□ 大学法人の併設・系列校の動向と経営課題 ～高大連携、法人合併・分離等／学園総合力としての経営分析～ 日本私立学校振興・共済事業団 田辺 和秀</p> <p>1. 大学法人の併設校の現状 (1) 大学法人の設置学校の状況 (2) 部門別の採算、高・中・小等併設校の有無による収支分析</p> <p>2. 高大連携の類型 (1) 接続段階での連携（入学前教育、入試・内部進学等） (2) 教育内容での連携（単位互換などカリキュラム連携等） (3) 進路・キャリアガイダンス段階での連携（人材養成像の共有化、キャリア支援、資格取得等）</p> <p>3. 高・中・小部門の新設、合併・分離の状況</p> <p>4. グループ法人としての経営戦略と財務基盤の確立 (質疑応答)</p>
11:20 〃 12:40	<p>□ 大学と高校の多様な教育連携の最新動向 ～競争経営環境下の教育・経営シナリオ～ 大学通信 安田 賢治</p> <p>1. 付属校と大学のちょっと不幸せな関係 (1) 付属校と大学の関係は今や付属校のほうが強くなってきた (2) 大学の教員と付属校の教員の温度差が埋まらない (3) 法人組織が異なるため、改革進まぬ付属校 (4) 大学の人気、付属校の人气が相互に作用しない現状</p> <p>2. 市場はどう評価しているのか (1) 中学入試で人気の付属校はごく一部 (2) エスカレーターに乗りたくない私立中受験生、乗りたい高校受験生 (3) “付属校ながら進学校”が人気 (4) 大学改革に振り回される付属校</p> <p>3. 大学にとって付属校や連携校の存在意義 (1) 付属からの生徒がいることを敬遠する受験生 (2) 優秀な学生の早期確保は大学入試から小中高の入試へ (3) 少子化の中で“量”も“質”も満たす方法は (4) ブランドの底上げこそ生き残りの戦略 (質疑応答)</p>
13:40 〃 15:10	<p>□ [関西大学] 新たなキャンパスの創造～総合学園のビジョン実現 ～地域社会及び初中教育との共生・連携プログラムの展開～ 関西大学 小西 靖洋</p> <p>1. 高等教育を取り巻く経営環境 (1) 私立学校法の改正と大学ガバナンス (2) 理事会のあり方</p> <p>2. ビジョンと長期行動計画 (1) ビジョンは何故必要か (2) 長期行動計画は大学ガバナンスの基盤強化となる</p> <p>3. 新たなキャンパスの設置と連携事業 (1) まちづくりへの参加 (2) 地域との共生を目指したプログラム開発</p> <p>4. 高大連携事業の取り組みと実際 (1) 幼・小・中・高校から大学・大学院までの“考動する関大人”の育成 (2) 併設校等のタイプ別高校との高大連携プログラムの展開 (質疑応答)</p>
15:20 〃 16:50	<p>□ 中・高校からみた大学との接続・連携の明日を拓く ～人間形成の本質を踏まえた教育者の責務と至福～ 東京私学教育研究所 清水 哲雄</p> <p>1. 現状はどうなっている～中高と大学の関係 (1) 「個人化の流れ」が招いたもの (2) この絵の違いは何だ (3) 教育基本法改正の意味するものは (4) お互いの現場理解はどこまで？</p> <p>2. 中高が担うべき学力とは (1) 学力の3つの視点 (2) 感性の伴わない知性は危険？ (3) 中高の担うキャリア教育とは (4) 1人ひとりのポートフォリオを大切に</p> <p>3. 未来に向けて～大学教育への願い (1) ユネスコ発 21世紀の教育指針 (2) 共に生きる意味 (3) 「equality」と「quality」 (4) 自立した社会人へ (質疑応答)</p>